

# 那加二東部 福祉だより

**第45号**  
平成28年3月31日発行  
編集・発行  
各務原市社会福祉協議会  
那加二東部地区



ある人が  
多い「那  
加二東部  
ガレット」  
さんのコ  
ーラスを  
観賞しま  
した。美  
しい歌声  
が心に届  
きとても  
癒されま  
した。

### 高齢者ふれあい交流会

十月十六日の「高齢者ふれあい交流会」では、九十三名の方に参加して頂きました。  
午前の部では、市の出前講座で、昨年也好評でありました茂益亭蝶代さんの落語を観賞しました。  
昼食  
午後の部では東部地区にゆかりの



### 福祉座談会で交流

十月三十日の「福祉座談会」では、東部地区社協の役員の方四十八名に参加して頂きました。  
当日は、「障害者福祉施策」について、市の清水恵子次長より講話をいただいた後、七グループに分かれ、「障害者福祉について地域でできること」をテーマに、意見や感想をまとめグループごとに発表していただきました。今後  
の地区活動に生かしていきます。  
\*座談会での意見感想等(抜粋)  
・何を手伝ったらいいか分らない  
・差別解消法の周知徹底を早急に  
・挨拶などの声掛けから始める  
・発達障害の子たちの見守り支援  
・無意識での差別や偏見が有った  
・親への精神的なケアや支援を  
・養護学校の文化祭へ行ってみる  
・授産バザー等で購入して協力する  
・日頃自分には関係の無い事だと  
・障害者雇用が進んでいないのでは  
・知的障害への理解が難しい  
・ボランティア活動で理解深める



### 地区福祉交流会

十二月十一日、「地区福祉交流会」を、地区役員及び自治会関係者等百一名の参加のもと行いました。  
午前の部では、ブルーベレーズによるバンド演奏や、童謡・唱歌・歌謡曲など、懐かしい歌をご披露いただき、心が和みました。  
昼食  
午後の部では、岐阜大学落研サークルの大家主水(ダイヤモンド)さんの落語を楽しんだ後、介護予防体操で体をほぐして、年末の忙しい一日を楽しく過ごせ次の活動に向けての糧となりまし



### 近隣ケア研修会の開催

那加二東部地区には現在十六の近隣ケアグループが有り、地域で見守り活動を行っています。写真は、六月十九日に  
行われた研修会の様子です。  
最初に近隣ケア活動についての説明に続き、「見守りで防ごう高齢者の消費者トラブル」と題しまして、講師の岐阜県司法書士会より、実態や事例紹介をしていただきました。その後、寸劇グループ「つくしんぼ」の皆様により事例を分り易く寸劇で演じていただきました。トラブルが無い事を祈っています。



### 健康増進教室の開催

今年の一月十五日、健康増進教室(体力測定)を、各自治会希望者、地域包括支援センター職員、地区役員等四十三名で実施をしました。  
自立体力テストは、最初に体調チェックを行い、安全を確認してから、歩行能力、身体調整能力、手作業能力、姿勢変換能力の四項目について要した時間を評価基準に従って点数をつけ総合得点で判定をするものです。健康寿命を延ばし元気な生活を送るために毎年参加して下さい。



### 防護柵の設置が実現

#### 通学路安全点検が実る

市道那五五四号線の市民公園西側新境川沿いに、通学路の安全確保のための防護柵が、平成二十七年十一月に設置がなされました。  
那加東地区民生委員児童委員協議会(会長 池田龍彦)の子育て支援部会は、毎年地区内の二校の小学校で授業参観及び学校教職員との懇談会を実施しているが、平成二十六年六月十二日に那加第二小学校で校区内の民生児童委員と懇談を行った際に学校側にガードレールの設置を強く要望したことが実ったものであります。  
平成二十六年度小学校通学路安全点検により市が出した結論は次の通りです。  
「通路わきにガードレール代わりに石の車止めが並んでいるが、実際にそこを飛び越えて下の新境川沿いの通学路へ落ちた車が有った。もし、また同じような事故が起これたら大変危険である。ガードレールの設置を市が平成二十七年に実施する」  
子ども達が毎日通る通学路の安



全が確保され、本当に有難うございました。民生児童委員の方々をはじめ、学校の先生方、更には要望を真摯に受け止めていただいた市職員の方々に敬意を表したいと思います。有難うございました。

わせを行い、盛大に開催しました。内容は、ボーリング、輪投げ、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、ダーツなどで、終わってからの賑やかな昼食、その後お待ちかねの近隣ケアの皆様がたによる真心いっぱいのお楽しみ「ビンゴゲーム」、老いも若きも声高らかに、「ビンゴ」「リーチ」や、「まだまだよ」と、元気はつらつ和気あいあいで、一層絆を深めた良き一日でした。

わが地域も、少子高齢化に伴い、色々の行事等に悩みますが、前向きに考え進めています。ふれあい行事を通して、大勢の皆様と、心強い近隣ケアの皆様へ感謝とお礼を申し上げます。



織田町自治会では、年一回、三世代ふれあい会を開催しています。近隣ケアグループの五人が中心となり企画、準備を行い、今年度は、十一月八日(日)に行いました。目玉はマジックショーです。マジックのできる方を紹介して下さった方、そして快く引き受けて下さった方々のお陰で実現することができました。輪ゴムを使ったマジックを教えてもらったりするなど、皆で楽しませていただきました。

その後は、ビンゴゲームをして昼食をとりました。

ご協力を下さった方々、本当に有難うございました。

短い時間でしたが、「ふれあい」の時間が大切だと感じました。

### 三世代ふれあい会

織田町 水野 りえ



例年の自治会の夏祭りは、八月九日(日)に、好天に恵まれて盛大に実施することができました。一か月も前から周到に準備を行ってきたので、当日は会場づくりも順調に推移しました。ポップコーン、みたらし団子、フランクフルト、かき氷など、集会場の前の広場に模擬店を開設して、役員の担当者が手慣れた手つきで腕を奮ってくれました。また、おにぎりや冷やしたジュース、ビールも販売してどの店も繁盛で盛り上がりを見せました。

### 自治会の絆深まる夏祭り

東新町 林 完治



集会場内では、DVDアニメを上映し、観賞ができて子ども達にも人気がありました。子供会の役員は、千本引きや西瓜割りなどを計画し、割ったときなどは、周囲の皆から歓声が上がっていました。その他、スパーボールすくいや輪投げなどがあり、若い父母や祖父母と三世代が一緒になって楽しそうに、微笑ましい光景でした。最後に、ビンゴゲームで盛り上がり、町内の最も大きなイベントに参加できて、皆さん夫々に親睦を深めることができ、本当に賑やかな夏祭りでした。

# 私の住む町から

今回は、住吉町・信長町・信長町三織田町・東新町自治会を紹介します。

## 二十七年活動を終えて

住吉町 長房 香代子

七月、「騙されませんうまい話」と題した出前講座の寸劇で、日々手口が複雑化する詐欺防止の勉強会を行いました。その後、「東北復興お国訛りでの号令ラジオ体操」が行われ、会場も笑顔でなごみ、良い運動になりました。又、警察安全課より、年金情報流出に対して「不審な電話は相手にしない事」と注意を受け、お互いに気をつけようねと決意を新たに散会しました。

八月、「三世代ふれあい交流会」



で、グラウンドゴルフ、輪投げの他、流しそめんを行い、涼を求めて集まり、楽しい笑い声が公園中に響いて、近隣ケアメンバーも汗をかき素麺茹でに活躍しました。

十一月、「芸能の秋を楽しむ会」で能、狂言のお話は奥が深く、紋付・袴で扇を手に舞を鑑賞、御指導のもと、「高砂」を皆で大声を出し至福の時を過ごしました。

一月、住吉神社の左義長があり、参拝者の人達と年頭の挨拶、ケアメンバーでぜんざいをつくりました。公園集会場があるお陰で、行事ができ有り難いです。

## 信長町自治会の活動

信長町 花木 春雄

私たちの自治会は、春のお祭り、三世代ふれあいの納涼祭、歳末の夜廻りなど、子供たちと関わった活動が毎年行われています。その他、高齢者との親睦、又、近隣ケアグループは、敬老の日に、グループごとに子供たちの手紙を添えお祝いをし、近況の確認等、地域の和と安心に心がけています。

毎年、全戸参加による公園清掃に合わせて防災訓練を計画していましたが、今年は二週とも雨天のため中止しました。大変残念でした。

夏の納涼祭は、子供会主催の駄菓子屋、役員・ボランティアの人達で生ビール、かき氷、焼そば、おにぎり等は大変好評でした。



て作ったぜんざいをいただき、新しい年を迎える恒例行事が終わります。このような行事が継続して実施できれば幸いです。



## わが町内の社交場

信長町三 三和 ミチ子

わが町内の一角に、「信三公園」があり、多目的に活用されています。例祭をはじめ、八月は自主防災訓練、壮年中心の週三回グラウンドゴルフ、手品、東屋は女性のミニ集会場、そして子ども達のよき遊び場となっています。

十月に、信長町三丁目の行事、「ふれあい広場」を、町内役員、子供会、近隣ケア代表の皆様と綿密に打ち合